

様式PCT/IPEA/409 (表紙) (2004年1月)

第1欄 報告の基礎

1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。

☐ この報告は、_____語による翻訳文を基礎とした。
それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。

- ☐ PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査
☐ PCT規則12.4にいう国際公開
☐ PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づき命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☒ 出願時の国際出願書類

☐ 明細書

第_____ページ、出願時に提出されたもの
 第_____ページ*、_____付けで国際予備審査機関が受理したもの
 第_____ページ*、_____付けで国際予備審査機関が受理したもの

☐ 請求の範囲

第_____項、出願時に提出されたもの
 第_____項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの
 第_____項*、_____付けで国際予備審査機関が受理したもの
 第_____項*、_____付けで国際予備審査機関が受理したもの

☐ 図面

第_____ページ/図、出願時に提出されたもの
 第_____ページ/図*、_____付けで国際予備審査機関が受理したもの
 第_____ページ/図*、_____付けで国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☐ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第_____ページ
☐ 請求の範囲 第_____項
☐ 図面 第_____ページ/図
☐ 配列表(具体的に記載すること) _____
☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) _____

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

☐ 明細書 第_____ページ
☐ 請求の範囲 第_____項
☐ 図面 第_____ページ/図
☐ 配列表(具体的に記載すること) _____
☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) _____

* 4. に該当する場合、その用紙に“superseded”と記入されることがある。

第Ⅱ欄 優先権

1. ☐ この報告は、次の書類が所定の期間内に提出されなかったため、優先権の主張がされなかったものとして作成した。
- ☐ 優先権の主張の基礎となる先の出願の写し (PCT規則 66.7(a))
- ☐ 優先権の主張の基礎となる先の出願の翻訳文 (PCT規則 66.7(b))
2. ☐ この報告は、優先権の主張が無効であると認められるので、優先権の主張がされなかったものとして作成した。
(PCT規則64.1)
- したがって、この報告においては、上記国際出願日を基準日とする
3. 追加の意見 (必要ならば)
- 優先権主張の基礎となる先の出願には、賦形剤を含有させること、及び、抗酸化力が増強されることは記載されていない。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、
それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性(N)	請求の範囲 1-26	有
	請求の範囲	無
進歩性(1S)	請求の範囲	有
	請求の範囲 1-26	無
産業上の利用可能性(1A)	請求の範囲 1-26	有
	請求の範囲	無

2. 文献及び説明(PCT規則70.7)

文献1: JP 01-098446 A (明治乳業株式会社) 1989. 04. 17, 全文

文献2: JP 3046303 B (明治乳業株式会社) 2000. 05. 29, 全文

文献3: JP 62-104552 A (森永乳業株式会社) 1987. 05. 15, 全文

文献4: JP 2003-253262 A (雪印乳業株式会社) 2003. 09. 10, 全文

文献5: JP 2000-287626 A (株式会社ヤクルト本社) 2000. 10. 17, 全文

文献6: JP 2002-335953 A (雪印乳業株式会社) 2002. 11. 26, 全文

請求の範囲1-5, 8, 9, 12, 14, 16, 18, 20, 22-26について

文献1には、公知のラクトバチルス属の菌株の培養液を給与することで下痢防止、体重増加できることが開示されている。また、蛋白質加水分解ホエーを含む培地で中和培養を行うこと、濃縮物を得ること、子豚に給与すること、牛を対象とすることも開示されている。文献2には、Lactobacillus gasseri OLL 2716(FERM BP-6999)及び、乳酸菌培養液を凍結乾燥物にして用いることが開示されている。よって、上記請求の範囲に係る発明は、文献1と文献2に開示された事項から当業者が容易に想到しうるものであり、進歩性を有しない。

第VI欄 ある種の引用文献

1. ある種の公表された文書 (PCT規則 70.10)

出願番号 特許番号	公知日 (日. 月. 年)	出願日 (日. 月. 年)	優先日 (有効な優先権の主張) (日. 月. 年)
JP 2004-189672 A 「E, X」	08. 07. 2004	11. 12. 2002	
JP 2003-253262 A 「P, X」	10. 09. 2003	28. 02. 2002	

2. 書面による開示以外の開示 (PCT規則 70.9)

書面による開示以外の開示の種類	書面による開示以外の開示の日付 (日. 月. 年)	書面による開示以外の開示に言及している 書面の日付 (日. 月. 年)
-----------------	------------------------------	--

第Ⅶ欄 国際出願の不備

この国際出願の形式又は内容について、次の不備を発見した。

明細書第10頁第3行の「第30463033号」は「第3046303号」の誤記である。また、請求の範囲10の「人口乳」は「人工乳」の誤記である。

補充欄

いずれかの欄の大きさが足りない場合

第 V. 2 欄の続き

請求の範囲 6, 7 について

文献 5 には、澱粉、脱脂乳等の賦形剤を添加することが開示されているので、上記請求の範囲に係る発明は、文献 1, 2, 5 に開示された事項から当業者が容易に想到しうるものであり、進歩性を有しない。

請求の範囲 10 について

文献 3 には、代用乳に乳酸菌培養残渣を添加して給与することが開示されているので、請求の範囲 10 に係る発明は、文献 1～3 に開示された事項から当業者が容易に想到しうるものであり、進歩性を有しない。

請求の範囲 11, 15, 19 について

文献 6 には、腸管内で生残性が高いラクトバチルス・ガセリが開示されているので、上記請求の範囲に係る発明は、文献 1, 2, 5, 6 に開示された事項から当業者が容易に想到しうるものであり、進歩性を有しない。

請求の範囲 13, 17, 21 について

文献 4 には、ラクトバチルス・ガセリの培養物に抗酸化効果があることが開示されているので、上記請求の範囲に係る発明は、文献 1, 2, 4, 5 に開示された事項から当業者が容易に想到しうるものであり、進歩性を有しない。